



ロータリーを 実践し
みんなに豊かな人生を
国際ロータリー会長
ロン D. バートン



国際ロータリー第 2750 地区多摩中グループ
東京国分寺ロータリークラブ

Rotary International

週 報

— 楽しい例会 仲間作り 奉仕は地域と共に —

2013～2014 年度 会長 山内 千枝

Vol48 No.40 平成 26 年 5 月 19 日

第2321回 親子合同夜間例会報告 — 5 月 19 日 —

本日の司会

浅川 SAA 委員長
(東京武蔵国分寺 RC)

開会宣言と点鐘

山内 会長
田中 会長 (東京武蔵国分寺 RC)

ロータリーソング斉唱

『奉仕の理想』
松田 会員 (東京武蔵国分寺 RC)

お客様紹介

田中 会長 (東京武蔵国分寺 RC)

○有吉 重蔵 様 (国土館大学講師・国分寺市教育委員会)

会長の時間

山内 会長

皆様こんにちは。本日は、武蔵国分寺ロータリークラブ様と合同例会です。多くの会員の皆様にご出席頂いて、大変有意義な例会になると思います。7月8日に表敬訪問をさせて頂いた時に私は武蔵国分寺ロータリークラブ様の魅力は「パワフルな行動力」と申し上げました。ですが、それはやはり、その通りです。事業計画書を読ませて頂きましたが田中会長は「広げよう好意と友情を・高めよう奉仕と理想を」をテーマとされ、「活気ある武蔵・元氣ある武蔵」を継承する事と宣言されています。そして何よりも舟木ガバナーを始め、皆様のカラー写真が素敵でした。さらに活気ある魅力的なクラブを目指して、まずカラーの顔写真に、と思いました。お互いにクラブの個性を生かしながら、楽しい交流を続けていきたいと思ひます。これからも宜しくお願い申し上げましてご挨拶とさせていただきます。



幹事報告

飯沼 幹事

先週の「介助犬・聴導犬育成支援募金活動」では、武蔵さんの多大のご協力を得て盛況裡におえることが出来ました誠に有難うございました。他の連絡は来週の例会で報告します。



委員会報告

出席委員会

林 出席委員

会員数: 45名 免除: 11名
メーキャップ済: 0名 欠席: 5名
出席率: 85. 29%

《前々回の訂正》

メーキャップ済: 2名 欠席: 3名
出席率: 86. 49% → 91. 89%



ニコニコボックス

穴戸 親睦委員長

山内会長・飯沼幹事: ①武蔵国分寺 RC の皆様とより深い交流を深め、今後共両クラブが発展しますよう祈念してニコニコします。②有吉先生本日の卓話、宜しくお願いします。原田 会員: 過日5月10日 RC 財団学友会の記念講演会が宇宙飛行士の山崎直子さんを迎え行なわれました。RC の偉大さと本日の合同例会の盛会を願いニコニコ致します。森 会員: 仙台市での告别式のため補助犬育成支援事業に不参加致しました。支援事業にお使いください。



ジャグザのご案内

照木 会員

的場先生の講演会6月28日(土) 東京経済大学で開催される。両クラブにチラシを配付しますので、ご覧の上、ご興味のある方はご出席下さい。



卓 話

○講 師 紹 介 :
田中 会長
(東京武蔵国分寺 RC)



「武蔵国分寺の古代鬼瓦」

講師：有吉重蔵様

(国士舘大学講師・国分寺市教育委員会)

(1)卓話の題名

武蔵国分寺の鬼瓦が創建当初になぜ新調されなかったのか。そのヒミツに迫り、当時の造営関係者が事業に真摯に取り組んだことを紹介。



(2)卓話の主旨・目的

建物の大棟や降り棟の端を飾る瓦を一般に鬼瓦と呼んでいます。武蔵国分寺の創建に伴って使用された鬼瓦は3種が出土しており、これらの鬼瓦は、範傷の進行や巻き毛文様の変化などから考えて千代廃寺跡(神奈川県小田原市)出土鬼瓦→武蔵国分寺金堂跡出土鬼瓦→新沼窯跡(埼玉県鳩山町)出土鬼瓦の順序で変遷したことが判明した。一方、天平13(741)年に始まる国分寺造営は、一律的に進行したものでなく国ごとに異なっていたが、武蔵国の場合は、昭和49年以来継続されている発掘調査の成果などから、天平13年の国分寺創建詔発布直後の国司と5郡の即応的な造営体制で事業を進めた段階(Ia期)から、天平19(747)年の郡司層(地方豪族)への協力要請に基づき挙国的な造営体制で事業が大いに進展した段階(Ib期)を経て、天平宝字2(758)年の新羅郡設置以前には終了したと考えられている。この変遷に3種の鬼瓦を当てはめると、天平13年直前に千代廃寺で使用された鬼瓦が、Ia期に武蔵国分寺の鬼瓦として範型が再使用され、Ib期に、新調された鬼瓦の範型が使用されたことになる。新造の官寺である国分寺なのに、なぜ創建当初のIa期に鬼瓦を新調しなかったのでしょうか。武蔵国では、天平13年詔を受けて全国でもいち早く国司を中心に慌しく造営事業に着手したことが想定されており(Ia期)、その過程で鬼瓦の新調が見送られ、相模国の国を超えての造営協力により鬼瓦の範型がもたらされたことが知られる。国を超えての造営協力は上野国分寺瓦と同範型で製作された軒先瓦などが武蔵国分寺から出土していることから上野国も同様であり、Ia期の特徴である。これらから、創建当初のIa期においては、事業の迅速な実施に当たって、今日的な課題でもある広範な協力関係の構築、事業の優先順位・取捨選択による大胆な経費削減等に真摯に取り組んだ様子が窺える。(配付された資料もご参照下さい。)

○謝辞 山内会長

閉会の点鐘

山内会長

田中会長(東京武蔵国分寺RC)

懇親会

○司会:

小坂親睦委員長

(東京武蔵国分寺RC)



○乾杯の発声:

高橋会長エレクト



○中締め:

中垣会長エレクト

(東京武蔵国分寺RC)



○ロータリーソング『手に手つないで』

ソングリーダー: 小椋パスト会長



国際ロータリー 第2750地区 多摩中グループ

東京国分寺ロータリークラブ

会長 山内 千枝 幹事 飯沼 克美
会報委員長 多田 幹明 副委員長 津野田 範昌

事務所・例会場 東京都国分寺市南町 3-20-3 国分寺ターミナルビル 8 階
Tel.042-322-6480

編集・印刷 (株)スプリングフィールド 国分寺市本町 3-8-12 Tel.042-320-5601

URL: <http://www.tokyokokubunjirc.org/>